

バイオフィリックデザイン導入業務委託資料

【バイオフィリックデザインとは】

1984年にアメリカで提唱された「人は自然とのつながりを本能的に求めている」という概念を「バイオフィリア」といい、そのバイオフィリアの考え方を取り入れた自然を感じさせる空間デザインを「バイオフィリックデザイン」といいます。

【バイオフィリックデザインを取り入れるメリット】

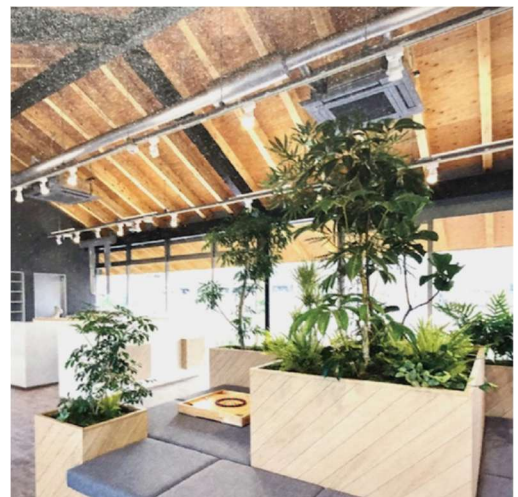
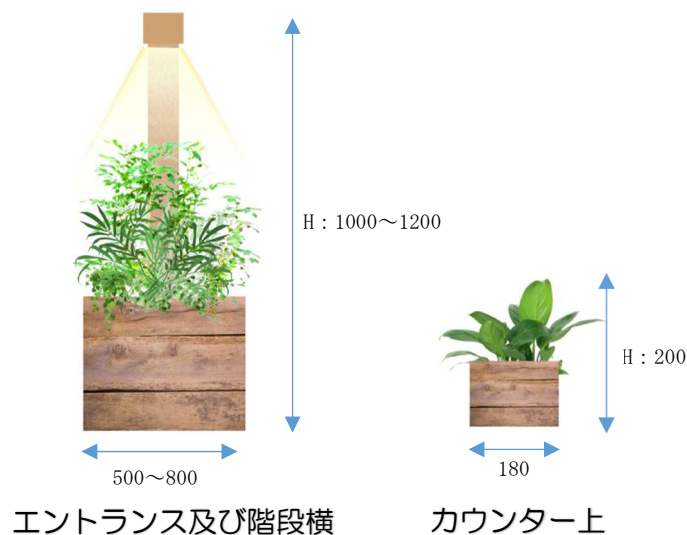
バイオフィリックデザインを取り入れることで、緑を見ることによる視覚的な自然とのつながりによりストレスを軽減できるため、幸福度の向上につながり、来庁される方々に癒しの空間を提供するとともに、職員に働きやすい環境を作り出すことにより、業務の効率化や質の向上が図られます。

また、植物は光合成により二酸化炭素を吸収して新鮮な酸素を排出します。そのため、空気の清浄化が期待できます。

【植物の配置場所】

1階ロビーエントランス及び階段横に高さ1メートル程度の植物を3つ、カウンター上に20センチメートル程度のハイドロカルチャー植物10鉢の設置を想定

【イメージ】



他施設での導入事例